

## 平成 28 年度第 4 回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成 29 年 3 月 18 日（土）午前 10 時～12 時

2 開催場所 中央図書館 2 階視聴覚室

### 3 出席者

（委員）押樋委員長 埴副委員長 藤澤委員 菊地委員 杉村委員 服部委員  
須賀委員 西村委員 大野委員 水田委員  
（事務局）斎藤館長 加藤副館長 白沢係長 森田係長 三輪副主査

### 4 議題

報告事項

- ①平成 28 年度下半期の行事について
- ②予算委員会について
- ③平成 28 年度図書館自己点検評価について

### 5 議事の概要

- ①平成 28 年度下半期の行事について、事務局より報告を行った。
- ②平成 29 年度当初予算及び予算委員会について、事務局より報告を行った。
- ③平成 28 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

### 6 会議経過

- ①平成 28 年度下半期の行事について、事務局より報告を行った。  
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（意見）図書館川柳は、「図書館と私」というお題だったが、もっとテーマを絞り込むと、ピンポイントな要望なども拾えて良いのではないか。例えば「私と図書館員」「私とレファレンス」など。

- ②平成 29 年度当初予算及び予算委員会について、事務局より報告を行った。  
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）予算委員会での質問の趣旨はどんなものか。

（回答）図書館での新刊図書の購入の仕方についての質問で、ベストセラー本の過度の購入は避けるべきであるということだと考えている。  
図書館としては、一定の範囲の中で購入する冊数は決めており、蔵書全体のバランスをとっている。

(意見) この問題は出版社側と図書館側で、理解に齟齬がある。出版社が指摘しているのは、図書館の蔵書が少ない予算の中で娯楽書に偏っているということである。浦安市の図書館は、蔵書の中で娯楽書は一部なので特に問題はないと思われる。

(意見) 図書館には蔵書計画があって、新刊だけでなく、必要な本を購入しているはずであるが、そういう姿勢を伝える努力も図書館からしていかなければ、いつまでたっても同じ議論が繰り返される。

(意見) 出版社も、要望書を出しているのは大手であり、学術系の出版社はむしろ図書館が購入しないと困る面もある。

(意見) 学校図書館を見ても、蔵書の豊かさは非常に重要である。調べ学習にはもちろんであるが、今年の卒業生で6年間に900冊以上の本を読んだ子がいたが、図書館にそれだけの蔵書があったということである。

(質問) 学校図書館と市立図書館の連携はあるのか。

(回答) 館種は違っても、子どもたちに本を手渡していくという意味では共通な部分も多く、連携も行っている。学校司書の研修会への講師派遣や、学校へ出向いてのおはなし会・ブックトーク等は継続的に行っている。また、新設校の図書室の選書のお手伝いもしている。

#### ④平成28年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) 今後、年間の評価を行ってホームページで公開もするというのであれば、作業としても負担が大きいものである。また、協議会の名の下に行うのなら、もう少し論理的に評価しなくてもよいのか。

(回答) 自己点検評価自体は図書館で行うので、違った視点からの評価をしていただきたいと思っている。いただいたご意見はそのままホームページに載せるわけではない。

(意見) 今回試行で意見を出したが、こういった一人一人の意見を協議会として取りまとめる必要があると思う。どの部分を図書館に伝えたいのか、といった話し合いを、協議会として行うべきであろう。そういうことを行っている図書館はたくさんある。

(意見) 今回は試行だったのでいいが、協議会として行うのであれば、項目数がこんなに多くできるのか疑問に思う。統計などの報告も、毎回受けているが精査しているわけではないので、会議の持ち方そのものも根本的に考えないと難しいのではないかと。その方法について意見を出し合って、次の期に引き継いで、何期か後に公開を目指すのが現実的ではないか。

(意見) ずっと図書館を見ているわけではないので、もらった資料だけでは適正な評価はくたせない。統計の数字だけで評価できないこともある。

- (意見) 年度当初から評価項目を出して、年間を通して見てもらう等の方法もある。
- (意見) 現在、市の生涯学習推進計画の作成に向けた会議もあるが、図書館や公民館は生涯学習の基盤であると思う。そういう部分を打ち出すいい機会になるのではないか。「ここを大きく変えていく」「今年はこれに取り組む」など、何か柱を一本立てて、追って行ってはどうか。
- (意見) 館長からの諮問自体が具体的な方が議論が深まりやすい。
- (意見) 別の時間に会議を開かずに、協議会の中で議論したものを抽出して評価表を作る方が効率的であると思う。
- (回答) いただいた意見等を参考にして、次年度の自己点検評価の取り組み方を検討していきたい。

7 傍聴者 0名